

The logo for 'FREE THE CHILDREN' is displayed in white, bold, uppercase letters on a blue rectangular background. The text is arranged in two lines: 'FREE THE' on the top line and 'CHILDREN' on the bottom line. The background has a slight notch on the left side.

**FREE THE  
CHILDREN**

**2025年度 第21期 総会資料**

**2024年1月1日～12月31日  
事業報告書**

特定非営利活動法人フリー・ザ・チルドレン・ジャパン

〒157-0062東京都世田谷区南烏山6-6-5安藤ビル3F

TEL : 03-6321-8948

Email: info@ftcj.org

URL : <https://www.ftcj.org>

2025年度 特定非営利活動法人フリー・ザ・チルドレン・ジャパン  
通常総会のご案内

来たる3月16日（日）に特定非営利活動法人フリー・ザ・チルドレン・ジャパンの  
第20期通常総会を開催いたします。

各総会資料をご覧ください、3月16日に奮ってご参加の程お願いいたします。

正会員の方々は組織運営に関わる存在で、総会での議決権を持っています。  
総会が成立するためには正会員数の1/2以上の参加（委任状含む）が必要となります。  
出席がかなわない場合も、かならず欠席のご連絡と委任状のご提出をお願いいたします。

みなさんの意見を活動に反映するため、出席できる方はぜひご出席ください。

〈総会出欠連絡〉 \*\*全員必ず返信ください\*\*  
<https://ws.formzu.net/fgen/S9617865/>

欠席をチェックすると委任状が出てきます。  
出席もしくは欠席の場合は、委任状の提出をお願いいたします。

■日時：2025年3月16日（日） 13：00～（12：50受付開始）  
13:00-14:30フリー・ザ・チルドレン・ジャパン総会

■会場：EF Tokyo（京都渋谷区桜丘町1-1 渋谷サクラステージ SHIBUYAタワー36階） および  
ZOOM  
<https://us06web.zoom.us/j/81722037235?pwd=TDM2WFJZQWRUYWpnS2VKd0wwWWlSZz09>

■議案

1. 議長及び議事録署名人(2名)の選出、総会定足数の確認
2. 議案の協議決定
  - (1) 第1号議案  
2024年度 事業報告書（案）と2024年度活動計算書（案）に関する事項  
→2024年度の活動と会計について報告し、内容の確認を行い協議します。
  - (2) 第2号議案  
2025年 事業計画（案）と2025年活動予算書（案）に関する事項  
→2025年の活動と予算について内容の説明を行い協議します。
  - (3) 第3号議案  
2023年財務諸表修正（案）に関する事項  
→財務諸表の表示形式変更とそれに準じた按分見直し、注記詳細の追加
  - (4) その他
    - (a) 理事及び監事のご紹介
    - (b) 事務局体制とアドバイザーのご紹介
    - (c) FTCJ子どもアンバサダーのご紹介
3. 閉会のあいさつ

## 1. 2024年度 事業を実施して

2024年は、フリー・ザ・チルドレン・ジャパン創立25周年の節目の年でした。

1995年に12歳のクレイグ少年によってカナダで設立されたFree The Childrenの「子どもは、助けられるだけの存在ではなく、自らが変化を起こす担い手である」という理念に共鳴し、この考えを日本から世界の子どもたちに伝えていきたいと思いました。同時に、世界の貧困や児童労働などの搾取から子どもを助け状況を改善したいという気持ちから1999年に日本で団体を立ち上げ活動を始めました。

25年の活動を振り返り日本と世界の状況はどうなったのでしょうか。一言で言い表すことは難しいのですが、ある部分では、子どもを巡る状況は改善しました。世界の児童労働者数は25年前は2億4600万人でしたが、現時点では未だに多いものの1億6000万人に減少しました。フリー・ザ・チルドレン・ジャパンが関わった国際協力地域では、大変喜ばしい変化が生まれていることが確認できました。それは、フィリピンやインドで、以前児童労働に従事したり、ストリートチルドレンだった少年や少女が、フリー・ザ・チルドレンの現地パートナーNGOによって救出され、支援を受け、中には大学に通うなどし、就職し安定した収入を得られる成人となった若者たちに会うことができたからです。

国内においても、非常に嬉しい変化がこの25年で生まれました。それは、日本政府が初めて子どもを権利の主体として捉え、子どもの権利を尊重する社会を創るための法律「こども基本法」が制定されたことです。これからは、子どもに関する事柄について子どもの声を聴くことが国や自治体の義務となり、そのための仕組みづくりが行われるようになりました。

このように、諦めずに活動を継続してきたからこそ、国内外の子どもの状況を少しでも良いものへと変化を起こすことができました。25年を通じて様々な方々とともに歩むことができ、ご協力くださった皆さまの存在がなければ25年の活動を続けることはできませんでした。改めまして、フリー・ザ・チルドレン・ジャパンに関わってくださったすべての皆さまに心からお礼を申し上げます。

しかし、国際社会や日本社会には多くの問題が山積しています。25年前と比べて貧富の格差が広がっている地域が多く、貧困層の比率が25年ぶりに上昇していると国際NGOオックスファムは、経済格差に関する報告のなかで述べています。また、ロシア・ウクライナ戦争が3年近く行われていることに加え、イスラエルとパレスチナ自治区での戦争は1年以上続いており、世界15以上の国々で戦争が起きています。中東のガザでは、この1年間で4万人以上が殺されました。そして、命を脅かす存在は、戦争だけではなく、気候変動によって、毎年25万人以上が命を落としているといわれています。

このような状況を少しでも改善しようと、2024年度はフリー・ザ・チルドレン・ジャパン25周年を記念して様々な特別イベントを開催しました。改めましてご協力くださった皆さま、本当にありがとうございました。特に、チェンジメーカー・フェスでは、「Take Action for Peace～平和をつくる私のアクション～」をテーマに、アクションを起こした子ども若者を応援するとともに、世界平和に向けた歌を歌手のAIさんをはじめアンバサダーとして応援くださっている土屋アンナさんやわたなべちひろさん、そして会場の皆さまとともに歌うことができました。ご協賛くださった大東建託グループみらい基金、C-United株式会社、株式会社パワープロジェクト様をはじめ、ご協力くださったすべての皆さまにお礼申し上げます。

また、こども基本法を社会に根付かせるために、2024年度を通じて日本財団様から助成金を通じたご支援をいただいたお陰で子どもの声を聴くおとなを増やす活動や、子どもの主体的な活動の実施に注力することができました。

最後に、子どもや若者の当事者として、同じ世代のために、または、よりよい社会や世界のために、声をあげて活動に取り組んでくださっている若きチェンジメーカーの皆さんには、いつも励まされ、私たちの活動の原動力となっています。ともに歩んでくださった子ども・若者の皆さまに心からの感謝をお伝えします。

課題解決には多くの時間がかかりますが、諦めずに活動することで変化を起こすことはできると25年を振り返りそう確信しています。「世界は変えられる」子どもがそう信じられる社会の創造に向けて、どうぞ引き続きよろしく願います。

代表理事 中島早苗

## 2024年度 事業活動報告

### 1) 子ども主体事業

◆事業の目的と役割 ・ 活動内容

子ども達が自ら世界の子どもの権利を守るため、主体的に活動する機会の提供とサポートの実施

活動名	活動内容	実施日時	実施場所	受益対象者の範囲及び人数	事業費(千円)
FTCJアンバサダー活動 (旧子ども代表委員)	<p>下記の3つを子どもアンバサダーの役割として設定し、子どもメンバーに公募した。</p> <p>①子どもファシリテーターとなり子どもメンバーミーティングを開催し、全国の子どものメンバーの声を聞き、子どもメンバー同士を繋ぐ。</p> <p>②積極的に、自らのアクションを実施し、その様子を記事にして発信する。</p> <p>③子どもメンバーの代表として団体の総会に議決権をもって参加する。団体運営について意見のある場合は、事務局に提言を行う。</p> <p>3月 勉強会 文章の書き方講座 3月 2023年度総会・意見交換会に出席 4-10月 リレーコラムにて子どもアンバサダーとして記事投稿 6月 ウェルビーイングについての勉強会 8月 活動報告会にて発表、新年度アンバサダー募集開始 9月 新アンバサダー14名が仮就任(2か月間のお試し期間) 9月 新旧アンバサダー引継ぎ、勉強会実施 10月 スモールグループごとに企画会議 11月 子どもメンバーが交流できる場「おしゃべりナイト」参画 11月 子どもの権利に関するイベントへ登壇 12月 おしゃべりナイト参画 12月 14名中13名が正式に就任</p> <p>▼2023年9月-2024年8月 FTCJ子どもアンバサダー(31人) 松下陽愛(小学6年生)、出野誠悟(中学1年生)、木田陽花(中学1年生)、鈴木紗蘭(中学1年生)、丸山心由宇(中学1年生)、吉田日月生(中学1年生)、若尾唯愛(中学1年生)、尾田心莉(中学2年生)、紙花菜(中学2年生)、白井咲羽(中学2年生)、波田野優(中学2年生)、黄石遼(中学3年生)、武川小春(中学3年生)、佐尾山こころ(中学3年生)、山口清崇(中学3年生)、今川つかさ(高校1年生)、窪寺柚月(高校1年生)、鈴木真優(高校1年生)、高木萌伽(高校1年生)、山口友那(高校1年生)、伊東美海(高校2年生)、植岡優里奈(高校2年生)、刈屋彩乃(高校2年生)、坂口くり果(高校2年生)、武田光平(高校2年生)、田中菜乃(高校2年生)、鶴岡羽陽(高校2年生)、町田小茉莉(高校2年生)、松谷安奈(高校2年生)、吉田朱雀(高校2年生)、鷲足祐香(高校2年生)</p> <p>▼2024年9月~2025年8月 子どもアンバサダー(13人) 鈴木紗蘭(中学2年生)、吉田日月生(中学2年生)、末木花歩(中学2年生)、山口清崇(高校1年生)、佐尾山こころ(高校1年生)、吉川美哉(高校1年生)、大久保ゆに(高校1年生)、今川つかさ(高校2年生)、窪寺柚月(高校2年生)、シクアラチ旅勇(高校2年生)、坂口くり果(高校3年生)、吉田朱雀(高校3年生)、小泉陽詩(高校3年生)</p>	通年	全国	43人	2,000
チーム活動	<p>フェアトレードチョコレート販売を通して、海外支援事業の寄付金を集める「フェアトレードチョコレートプロジェクト(略称チョコプロ)」を実施した。メンバーは1年ごとに公募し、子ども自身が商品名や価格の決定し、学校やイベントでの販売に取り組んだ。</p> <p>▼活動内容 1月 オンライン販売開始 2月 せたがや国際メッセや各自学校で販売 3月 超文化祭で販売 4月 多摩ファミリーフェスタで販売 5月 フェアトレード・ラベル・ジャパン渋谷展示で販売 →合計788個販売、106,065円をインド教育事業に寄付。 参加メンバー20名</p> <p>9月 継続メンバー会議、新メンバー募集 10月 商品名・価格・入荷数決定 11月 せたがや国際メッセや各自学校で販売 →参加メンバー29名</p>	通年	全国	49人	1,007

## 2) 子ども活動応援事業

### ◆事業の目的と役割 ・ 活動内容

- 国内の子どもが、世界の開発途上国で見られる児童労働など苛酷な状況に置かれている子どもの現状を学び、問題を解決するための支援活動の企画・実行を主体的に行えるように育成する。
- 子ども達が自ら世界の子どもの権利を守るため、主体的に活動する機会を提供し、その活動をサポートする。

### ◆助成協力：パブリックリソース財団『感動体験支援基金』（テイク・アクション・キャンプ）

大東建託グループみらい基金(テイク・アクション・キャンプ、We are the MOVEMENT)

CBGM子ども財団(ティーンボイスプロジェクト)

デロイトトーマツ ウェルビーイング財団(ティーンボイスプロジェクト)

日本財団(子どもの権利条約フォーラム全体会子ども企画)

活動名	活動内容	実施日時	実施場所	受益対象者の範囲及び人数	事業費(千円)
子ども活動家育成	<p>▼Take Action Campの実施</p> <p>日本にいる子ども若者が社会課題を知り、その解決に向けて自らがアクションを起こし、より良い世界のために活動するためのノウハウを学ぶ場を提供した。</p> <p>夏(8月)：4日間プログラムを実施 50名参加 冬(12月)：2日間プログラムを実施 19名参加</p> <p>※経済的な課題を抱える家庭の子どもへのスカラシップ制度(無料招待)の実施については、国内子ども支援事業(5)にて別途報告</p>	夏8月 冬12月	夏 国立中央青少年交流の家 冬 高尾の森わくわくビレッジ	69名	2,480
	<p>▼次世代リーダー教育インターンシッププログラム</p> <p>子どもたちが安心してできる環境を作り、意見を引き出すファシリテーターを育成した。</p>	2月～ 12月	オンライン 国立中央青少年交流の家、高尾の森わくわくビレッジ	20名	800
	<p>▼コロナを子ども若者自身が振り返り調査し提言をできるようにコンソーシアム(共同事業体)を国立成育医療研究センターと一般社団法人Everybeingと設置し活動。4人のファシリテーターを育成し、全国から16人の子ども探究者を選考後、春休みに政策提言に取り組むための合宿を実施。また、イギリスの若者と意見交換をしながら子ども探究者による提言づくりを支援。8月に子ども家庭庁を訪問し提言発表及び意見交換を実施した他、11月に一般に向けた発表に取り組んだ。</p>	通年	川崎、東京 オンライン	16名、 全国の子ども	6,000
メンバー活動サポート	<p>・子ども活動応援</p> <p>メンバー登録をした子どもや若者へイベントや活動の情報を定期的に流したり、電話やメールでの相談や質問に対応し子どもメンバーが主体的に活動できるようサポートを実施。コロナ化で中止をしていたウェルカムデーだったが、新しく月1でオンライン・事務所でメンバーが集える場の提供を再開した。</p> <p>▼おしゃべりナイト(オンライン)の実施</p> <p>メンバーの質問や悩みに応えたりメンバー同士の交流を図るための定期的な交流イベント</p> <p>▼オフィスボランティアデーの実施</p> <p>ボランティア作業をしながら、メンバーの質問や悩みに応えたりメンバー同士の交流を図ったりするための定期的なボランティア&amp;交流イベント</p> <p>▼子どもの権利条約フォーラム全体会子ども企画の実施支援</p> <p>11月に開催された子どもの権利条約フォーラム2024全体会の子ども企画プログラムを子どもメンバーが担当、実施できるよう企画運営支援を行った。子ども自身が子どもの権利が守られるために子どもの声を伝えるプログラムを企画運営した。当日は800人以上の参加があった。</p>	通年	主に事務所	全国のメンバー 1,500人	1,000
	<p>▼We are the Movementの実施</p> <p>大東建託グループみらい基金様の支援及び自己資金により、子ども・ユースメンバーからソーシャルアクションプロジェクト企画を募り、選考し、選ばれたプロジェクトの実施のサポートを行った。6件を支援プロジェクトとして採用。また、採用期間外にて比較的小規模かつ短時間で実施可能なプロジェクト支援を行う「ミニアクション枠」にて採用、1件を準備相談対応した。</p>	1月～ 12月	オフライン およびオンライン	625人	1,115
スタディツアー	定員を超える応募があった。日本の子どもや若者が、国際協力の現場を訪問し、支援先の子どもと交流したり、国際問題について考えたり、個人でできること、NGOとしてできることを学び考えた。	3月、8月	フィリピン マニラ、オロンガポ市	35名	3,000

#### 4) アドボカシー事業

##### ◆事業の目的と役割 ・ 活動内容

目的：社会問題や権利を奪われた子どもの現状、課題解決について様々な方法で多くの人に伝え、問題解決につなげる。

内容：

- ・ 出前授業・講演会・ワークショップ：104回実施（対面・オンライン形式）・対象人数：8586人
- ・ FTCチェンジメーカー教育プログラム(教材開発・全国展開・キャンペーンキット開発・既存教材改定)
- ・ 出版、資料作成
- ・ 物販（フェアトレードチーム）
- ・ 自主開催イベント
- ・ ニュースレター・メールマガジン発行、ホームページ構築・更新
- ・ 事務所訪問対応

##### ・ 出前授業・講演会・ワークショップ及びイベント実施活動

日時	講演先（学校・企業・団体）	実施場所	受益対象者の範囲及び人数	講演テーマ内容	事業費（千円）
2024年 1月～12月	学校 69ヶ所	全国	6,635	国際理解教育、国際国内問題・キャリア教育・人権教育・ウェルビーイング・リーダーシップ・チームビルディング	7,026
2024年 1月～12月	自治体、行政（こども家庭庁含む）など 16か所	対面・オンライン（全国）	645	人権教育、ウェルビーイング	
2024年 1月～12月	団体、企業、イベント等での講演 19カ所	対面・オンライン（全国）	1,306	国際問題・国内の社会課題・キャリア教育・人権教育・ウェルビーイング・リーダーシップ	

##### FTCチェンジメーカー教育プログラム(教材開発・全国展開・キャンペーンキット・教材改定)

活動名	活動内容	実施日時	実施場所	受益対象者の範囲及び人数	事業費（千円）
教材開発・改定	①ウェルビーイング教材開発 ②FTCチェンジメーカー教育プログラム教材追加 ③自治体向け：ファシリテーター養成研修・こども基本法や子どもの権利に関する講座のFTCJオリジナルテキストを作成	通年	東京事務所	教職員・団体の責任者、及び全国のこどもなど 12000人	6,200
全国展開	教職員向けに ①教材体験会の実施 ②メールマガジン発刊 ③相談実施	通年	全国	教職員・団体の責任者など 100人	300
キャンペーンキット	Speak Up改訂版作成、公開	通年	全国	国内外の人々 約2,000人	500
自治体との連携	14の自治体にて研修や講座等を実施。次年度に向け相談・打ち合わせを20の自治体と実施。  ・ こども家庭庁主催：こども意見聴取ファシリテーター養成講座の講師を全4回全て務める。研修資料の更新も実施。 ・ 埼玉県知事と子どもの交流イベントのコーディネート及び当日の運営 ・ 新潟市からの委託事業として、新潟市子ども条例の普及啓発のための未就学児及び小学校低学年児童を対象にした紙芝居教材の開発と、イベントの実施を実施。 ・ その他北海道～島根の12の自治体で、1時間半～3時間の講座、1日のファシリテータースキル研修を実施。□	通年	全国	自治体・団体の責任者など(人数は教材・出前授業に含む) 及び、新潟市の未就学児及び小学校低学年の子ども（約28,000人）	1,100

##### ・ 出版、物販、広報、ニュースレター・メールマガジン発行、ホームページ構築・更新

活動名	活動内容	実施日時	実施場所	受益対象者の範囲及び人数	事業費（千円）
出版	子どもの未来社から「こども基本法こどもガイドブック」を8月に出版。10月に重版。	1月～8月	東京、オンライン	4000部出版	300
物販	フェアトレード商品や出版物の紹介、それに関する資料作成と仕入れ、販売など	通年	東京事務所	子ども、一般	1,200
ニュースレター・ アンニュアルレポート発行	2023年度アンニュアルレポート発行 25周年記念ブックレット発行	5月 12月	東京事務所	各号750部 印刷	500
メルマガ発行	月に2回発行、臨時メール発送年6回	通年	東京事務所	国内外の人々 約7,000人	500
ホームページ更新・作成	大東建託グループみらい基金様からの支援で子ども向けウェブページの構築作業をスタート。webサイト随時更新：1日平均800view程度あり。WEBサイトリニューアルに向けたページ作成等 ニュース・レポート：1日平均400view程度あり	通年	東京事務所	国内外の人々	1,500

##### ・ 問い合わせ及び事務所訪問対応

活動名	活動内容	実施日時	実施場所	受益対象者の範囲及び人数	事業費（千円）
事務所訪問対応	基本オンラインで対応し、希望者のみオフィスでの訪問体を実施。団体説明等。	通年	東京事務所	40	100

### 3) 外部ネットワーク

◆事業の目的と役割 ・ 活動内容

様々なセクター、組織とつながってネットワークを構築、協働しFTCJのビジョン、ゴールを実現することを目指す。

<2024年度参加・構築したネットワーク>

・JNNE（教育協力NGOネットワーク）：開発途上国の子どもへの教育支援を行っているNGOによるネットワーク。登録団体間での情報交換、勉強会を実施、外務省との意見交換や政策提言などを行っている。世界の全ての子どもへの良質な基礎教育提供を目指し世界のEFA（万人のための教育）運動とつながって国内でのアドボカシーや政策提言などのキャンペーン活動をしている。

・児童労働ネットワーク（CLネット）：児童労働の廃絶に向け、勉強会、キャンペーンなどを展開。児童労働問題に取り組むNGO、労働組合、その他非営利組織、個人で構成されており、FTCJは運営委員団体として参加。

・広げよう！子どもの権利条約キャンペーン：子どもの声を政策決定者に届けることを目的として「子どもメガホンプロジェクト」を開始。

FTCJからも子どもメンバーが複数参加し、国会議員との対話に参加。

・フェアトレードタウン世田谷推進委員会：世田谷区をフェアトレードタウンに認定されること目指し設置されたネットワーク。FTCJ代表の中島が理事を務めている。

・その他非営利組織への会員登録や他団体との協力

団体のビジョンを達成し、より良い組織運営や社会問題に取り組む組織との情報交換のため新公益連盟への加盟や関西NGO協議会などのネット

活動名	活動内容	実施日時	実施場所	受益対象者の範囲及び人数	事業費(千円)
JNNE	「SDG4教育キャンペーン2024」の広報協力、JNNE実行委員団体としてネットワークの運営に携わった。主に、開発途上国の教育支援の拡充のための啓発と政策提言活動を実施。また、国内の教育問題について啓発。	通年	全国 オンライン	—	300
CLネット	「ストップ！児童労働 キャンペーン2024」を主催し、児童労働問題の意識啓発を行った。 展開内容： ・オンラインイベント開催 ・レッドカードアクション ・Twitterフレームを活用した児童労働・SDG8.7に関する周知	通年	全国	—	500
広げよう！子どもの権利条約キャンペーン、その他子どもの権利関連ネットワーク	国連子どもの権利条約制定30年の節目の2019年に子どもの権利保障を目指しNGOでネットワークを設立。FTCJは実行委員として関与している。子どもメンバー等とともに「子ども基本法」が社会に根差し、子どもの権利が実現するための活動や子どもの声を聴くイベント開催、その重要性を考える啓発活動に取り組んだ。11月には子どもの権利条約フォーラムを共催し約2000人も参加者を対象に、子どもの権利について考え学ぶ機会を創出した。FTCJ子どもメンバーが企画するプログラムを運営支援した。	通年	全国	2,000	5,770
フェアトレードタウン世田谷推進委員会	世田谷をフェアトレードタウンとして認定されるよう世田谷区民及び世田谷区にある団体など組織で構成しネットワークを構築。世田谷区内でフェアトレード商品の紹介や販売、イベント・セミナーの開催などを行った。	通年	世田谷区	10000人	200
にいがたNGOネットワーク	新潟県の国際協力や国際交流の活性化のためのNGOを中心としたネットワークに、FTCJとして参加。ウェルビーイングや子どもの権利を保障するための国際協力の在り方を考えるセミナーやイベントの実施を行った。	通年	新潟市	—	600

## 5) Free The Childrenプログラム（自立支援事業・緊急支援事業）

◆事業の目的と役割・活動内容目的：貧困などが原因で権利を奪われ困っている開発途上国の子ども（特に支援地域のフィリピン、インド、ケニアなど）や国内の子どもの権利が守られ心身ともに健康的に過ごすことができず、自立できるよう支援をする。  
内容：フィリピン、インド、ケニアなどの開発途上国及び国内の子どもが貧困や差別から解放され自立できるよう包括的な支援事業を実施する。また、災害や紛争などによって被害を受けた地域への緊急復興支援事業を実施する。

◆助成・企業寄付協力：大東建託グループみらい基金、ウェスレー財団、大竹財団、部禮次郎アフリカ基金、東京グレートサンタラン、  
(株)サクスパーホールディングス、パブリックリソース財団『感動体験支援基金』

### 海外事業（国際協力）

#### <フィリピン支援事業>

活動名	活動内容	実施日時	実施場所	受益対象者の範囲及び人数	事業費(千円)
先住民族の子どもへの教育支援	ミンダナオ島先住民族の村に暮らす子どもたちの教育環境整備に向けた支援事業。「小学校のトイレ設置と修繕」事業を現地NGOと小学校と協働し実施した。教員用トイレ1つと、児童向け男女1つずつ計3つのトイレを設置し、保健衛生教育についても実施した。	通年	ミンダナオ島	先住民族の子ども約45人+教員4人	200
ブレダ基金を通じた子ども支援・貧困地域への自立支援	寄付やフェアトレード商品の収益などによって、フィリピン・ルソン島サンバレス州オロンガポに位置する現地パートナーNGOブレダ基金を通して、性的虐待・搾取を受けた少女や、路上や刑務所から救出された少年少女への自立支援や、アエタ民族や貧困コミュニティへの自立支援活動の実施。 (寄付：東京グレートサンタラン2023、他)	通年	ルソン島を中心としたフィリピン	子ども110人、アエタ民族100人	480
緊急支援	2023年12月～2024年2月にかけて、フィリピン南部ミンダナオ島での豪雨、洪水、土砂崩れの被災地域への緊急支援として、被災地域の農家を対象に食料の配布を実施。64世帯に対して支援をした。	1月～3月	ミンダナオ島	400人	300

#### <インド支援事業>

活動名	活動内容	実施日時	実施場所	受益対象者の範囲及び人数	事業費(千円)
西ベンガル州 CCD 支援事業	現地パートナー団体CCDを通じて、インド・西ベンガル州の貧困家庭で暮らす子どもが学校に通え、栄養ある食事健康に暮らせるよう支援する事業。貧困地域への収入向上支援と子どもの権利が保障されるための子どもに向けたワークショップの実施を、現地パートナーNGOのCCDを通じて実施した。 (助成：ウェスレー財団)	通年	西ベンガル州	西ベンガル州コルカタ周辺貧困地域の40世帯	1,000
マハラシュトラ州ムンバイ郊外貧困地域の子ども教育支援	マハラシュトラ州の州都ムンバイ郊外の貧困地域の子どもへの教育支援を現地NGOを通じて昨年度実施した活動へのフォローアップ。現地から、新たに貧困地区に暮らす子どもを対象にした学校建設事業の計画について連絡があり、どのように協力をするのか話し合いを行った。	3月～9月	マハラシュトラ州	1年生～10年生まで375人	400

#### <ケニア支援事業・コンゴ支援準備>

活動名	活動内容	実施日時	実施場所	受益対象者の範囲及び人数	事業費(千円)
ケニア先住民族支援事業	ケニアナロック群南ナロック県のマサイ民族やキクユ民族に対して、コロナ感染を予防・治療するためのモバイルクリニックを通じた支援を実施。特に子どもや妊産婦への健康向上・維持のための保健医療支援を行った。また、女子教育への理解が低い地域があるため、啓発を行うとともに、貧困家庭の女子が質の良い中等教育を受けられるよう、奨学金支援を行い、女子への中等教育支援に注力した。 (寄付：東京グレートサンタラン2023)	通年	ケニアナロック群南ナロック県先住民族コミュニティ	約1200人	280
コンゴ民主共和国支援	現地の NGO やアフリカ内で繋がりのある NGO とのパートナーシップにより、キブ州の貧困農村コミュニティにて、農業従事者への農業技術のトレーニングを実施することで、その地域に暮らす子どもたちの栄養向上を図る。プロジェクト1年目の2024年は、20名の農業従事者を対象に支援を実施農業研修支援及を行った。本格的には2025年度から健康及び収入向上のための支援事業を実施する。 (助成：大竹財団、部禮次郎アフリカ基金)	通年	コンゴ民主共和国キブ州	20世帯	500

### 国内事業

#### <国内の子ども支援事業>

活動名	活動内容	実施日時	実施場所	受益対象者の範囲及び人数	事業費(千円)
経済的困難を抱える家庭の子ども支援（スカラシップ制度）	経済的な理由などでキャンプなどのプログラムへの参加をあきらめざるを得ない小学5年生～18歳を対象に参加費無料とし、交通費の全額補助を行い、支援を行った。 ※子どもたちのサポートスタッフ育成はアドボカシー事業に含む スカラシップ枠は、夏休み4日間は国立中央青少年交流の家（静岡県御殿場市）にて10名、冬休みは1泊2日で高尾の森わくわくビレッジ（東京都）にて6名を対象に実施した。（助成：パブリックリソース財団『感動体験支援基金』、大東建託グループみらい基金）	8月、12月	国立青少年の家、高尾の森わくわくビレッジ	16人	973
経済的困難を抱える家庭の子ども支援（入学・入園・進級応援金）	ひとり親家庭や新型コロナウイルスの影響を受けた世帯、その他様々な理由で家計がピンチな状況にある世帯で、2024年2月に入学・進級する3人以上の子育て家庭で、新学期の準備金の支援が必要な世帯を対象に支援金を贈る「応援金サポート」を実施。受付開始後すぐに500名以上の方から応募があり80世帯の方に応援金の贈呈を行った。 (寄付：株式会社東京デリカ SALON de RUBAN)	2月～4月	全国	80世帯(240人以上)	1,400



## 6) Change Makers Fes事業

### ◆事業の目的と役割 ・ 活動内容

Change Makers Fes（チェンジメーカー・フェス）は、人や地球のことを考え、ボランティア等に取り組んでいる25歳以下の子ども・若者を無料で招待し、彼らのアクションを祝い、これからの活動にエールを送るライブイベント。

#### 【目的】

- ①参加者の子どもや若者が、多様な立場に置かれる人々や異なる価値観を理解し、一人ひとりが尊重されることの大切さを感じ、彼らの自己肯定感を高める。
- ②参加者の子どもや若者が、SDGsに紐づく国内外にある社会問題を知り、それらの問題と自分自身が繋がっていることに気づき、自分ができることを考え、行動できる素地を養えるようにする。
- ③参加者の子どもや若者が、自分が動くことでより良い変化を起こせると感じ、彼らの自己効力感を高める。

### ◆助成：大東建託グループみらい基金、子ども夢基金

企業協賛：C-United株式会社（珈琲館/カフェ・ド・クリエ/カフェ・ベローチェ）、株式会社パワープロジェクト

協力：株式会社フロンティアインターナショナル、テアトルエンターテインメント株式会社

Lasting Peace Project、TOMOSUBA TOKYO、広げよう！子どもの権利条約キャンペーン、おたっ子条例を考える会、一般社団法人

ガールスカウト東京都連盟 歌唱指導：磯野万里衣、蔵本順

後援：大田区教育委員会、独立行政法人国際協力機構（JICA）、特定非営利活動法人国際協力NGOセンター（JANIC）、東京ボランティア・市民活動センター（TVAC）、特定非営利活動法人日本NPOセンター（JNPOC）

活動名	活動内容	実施日時	実施場所	受益対象者の範囲及び人数	事業費(千円)
Change Makers Fes2024	<p>【イベント名】 Change Makers Fes 2024 ～世界を変える力よ、ここに集まれ。～</p> <p>【日時】 2024年10月23日（水）18:00～20:00</p> <p>【会場】 Zepp Haneda (TOKYO)</p> <p>【対象】 SDGsの目標として掲げられている国内外の社会課題解決に向けて、ボランティア活動など何らかのアクションを起こした25歳以下の子どもや若者。</p> <p>【実施内容】 2回目の会場開催となるChange Makers Fes 2024をZepp Haneda (TOKYO)にて実施。世界中で続く戦争に、大きすぎる問題で何ができるのかと心を痛めている子ども若者が多くいる状況に対し、Take Action for Peace ～平和のための私のアクション～をテーマにプログラムを構成。平和に向けたアクションについて、おとなやU25のチェンジメーカーがスピーチを通じて伝えるとともに、パフォーマンスで勇気づけ、最後にChange Makers Fes 2024のメインアーティストに就任したAIさんと一緒に、平和を願って作られたLasting Peace Songを大合唱した。合唱企画に向けて、事前の参加者交流会も経て当日を迎えたことで、より一層、一体感/仲間を感じられるイベントとなった。当日撮影したイベントの様子を、イベント開催後にオンラインで配信し、より多くの人に届けられるように編集し、2025年2月に公開を予定している。</p>	通年	東京	509人	19,040

## 7) 管理部

管理・その他、この法人の目的を達成するために必要な事業に関する報告

活動名	活動内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	事業費(千円)
翻訳	事業の運営に係る資料を日・英に翻訳。	通年	東京	5	10
研修受講	円滑な組織・事務局運営のため下記の研修を受講	通年	東京	10	0
個人情報管理	アクセスのデータを構築デザインし、メンバーや協力者などの個人情報を整理し管理を行った。	通年	東京	3	100
ファンレイジング	サポーター増強のためのWEBサイトの更新、報告会の実施、googleアナリティクスの運用などを実施 マンスリーサポーター増加のためにキャンペーンを実施した。	通年	東京	3	350
広報・ブランディング	広報が担当となり、計画的な広報を実施	通年	東京	3	630
問い合わせ対応	メール、電話、FAX、郵送にて事務局に届く問合せや連絡に対応。対応例：事務所訪問、出張講演調整、教材や物販の注文、団体など組織からのアンケートへ返答、子ども、大学生、社会人からの質問返答、メンバー希望、団体への質問返答など	通年	東京	3	300
会計	組織の透明な会計のための団体に関する資金の流れを管理し帳簿を付けるなどの業務を実施。	通年	東京	2	1170
理事会運営・管理	事業を円滑に実施するための理事会の運営。	通年	東京	11	30
その他	事務所運営管理、什器管理など。	通年	東京	5	16

### 【活動のご協力】

◆助成協力：東京都 正規雇用等転換安定化支援助成金

### 【理事兼任】

中島早苗：代表理事 海外自立支援事業・全事業  
 原元 望：副代表理事 全事業  
 出野恵子：事務局長 アドボカシー事業  
 伴野保志：個人情報管理システム構築  
 藤井裕子：チェンジメーカー・フェス、関西での活動  
 松下耕二：チェンジメーカー・フェス

### 【事務局体制、役割報告】

長沼ななみ：WE Movement事業部長  
 板倉香子：会計・総務  
 広瀬太智：WE Movement事業部 子ども活動応援課ゼネラルマネージャー  
 菅原萌子：WE Movement事業部 子ども活動応援課マネージャー  
 木村千夏：WE Movement事業部 子ども活動応援課マネージャー 広報担当  
 鈴木洋一：子ども活動応援事業、外部ネットワーク  
 鈴木悠仁子：アドボカシー・国際協力事業  
 田中理帆：渉外、ブランディング  
 佐藤美紗子：ブランディング  
 竹内拓海：チェンジ・メーカーフェス  
 石谷小晴：スピーカー・ファシリテーター

### 【2024年度インターンご紹介】

チェンジメーカー・フェス：石川美桜、萩原あかり、松浦弓奈  
 ティーンボイスプロジェクト：坂本奈々美、日置実里、栗田優希、木村真彩  
 子ども家庭庁、子どもの権利条約フォーラム：森垣穂香  
 テイク・アクション・キャンプ ロジ担当：鈴木彩貴

### 【事務局ボランティアご紹介】

S.S：事務局運営・広報補佐・ファンレイジング・翻訳・海外支援事業・教材開発・ウェルビーイング事業ほか  
 本川優希：スピーカー・ファシリテーター

メディア掲載一覧

2024年1月～12月にメディアなどで配信・紹介されたFTCJの活動です。(人物の肩書・役職・苗字は掲載当時のものです)

時期	メディア配信・媒体名	内容
通年	ONE WORLD English Course (教育出版・中3英語教科書)	FTCを創設したクレイグ少年の物語が巻末に掲載されています。
2024.1.1-4	J-WAVE「JAM THE PLANET」 番組内コーナー「LOHAS TALK」 ※事前収録	代表理事の中島が出演し、団体紹介とイベント告知を行いました。
2024.2.6	Wellulu (メディアエンジン(株))	当団体のウェルビーイング教材をご紹介いただきました。
2024.2.9	オルタナオンライン(株)オルタナ	本年のチョコレートプロジェクトをご紹介いただきました。
2024.2.26	徳島新聞(紙版のみ)	事務局長:出野へのインタビュー記事を掲載いただきました。
2024.3.7	(一財)国際ビジネスコミュニケーション協会 (日本国内のTOEIC運営団体)	スタッフ:伊藤へのインタビュー記事・動画を掲載いただきました。
2024.5.23 2024.5.25 2024.5.27 2024.5.31 2024.6.11 2024.7.18	東京新聞 毎日新聞朝刊 ※電子版は有料記事 読売新聞 朝日新聞 カナロコ(神奈川新聞) タウンニュース かなレポ川崎 かわさきFM「かわさきホット☆スタジオ」	川崎市と当団体が制作した教材をご紹介いただきました。 (東京新聞・タウンニュースのみ)また、この教材の制作のために当団体が2023年夏に開催したワークショップもご紹介いただきました。
2024.5.29	日新火災withCaNday (日新火災海上保険(株))	当団体の翻訳教材「ウェルビーイングな暮らしをおくるためのヒント集 ～自分らしく安心していられるために～」をご紹介いただきました。
2024.7.4	エヌレコ(Think About Goals(株))	当団体をご紹介いただきました。
2024.7.9	教育新聞 ※電子版は有料記事	当団体が運営に携わり、子どもアンバサダー複数名も参加している「広げよう!子どもの権利条約キャンペーン 子どもメガホンプロジェクト」が7月8日にこども家庭庁を表敬訪問して制作提言を行った様子が掲載されました。
2024.8.29	こども基本法 こどもガイドブック(子どもの未来社)	当団体代表理事の中島、事務局長の出野、ほか当団体関係者がこども基本法を解説した書籍を出版致しました。
2024.9.17	フリーター就職支援「ハタラクティブ」 (レバレジーズ(株))	当団体をご紹介いただきました。
2024.9.27	「部落開放」2024年10月/860号(株)部落開放社	当団体事務局長の出野が寄稿しました。
2024.10.24	TBS「THE TIME,」	冒頭で「チェンジメーカー・フェス2024」の様子が放送されました。
2024.10.25	びわ湖放送 中日新聞 ※電子版は有料記事	「チェンジメーカー・フェス2024」ゲストで元少年兵のミシェル・チクワニネさんの講演(立命館守山中学校への出前授業として実施)の様子が放送されました。
2024.11.8	教育だよりかわさき131号(川崎市教育委員会)	「We are the MOVEMENT」の活動として、当団体の2023年度子どもアンバサダーが8月7日に政策提言を行った様子が掲載されました。
2024.11.15 2024.11.25	テレ玉(テレビ埼玉) 毎日新聞 ※電子版は有料記事 読売新聞 日経新聞 埼玉新聞 朝日新聞 ※電子版は有料記事	11月14日:埼玉県民の日に埼玉県庁が実施し、当団体が運営補佐を担当した「こどもたちと知事の意見交換会」の様子が放送・掲載されました。
2024.11.20	SDGs media(株)Drop	当団体代表の中島へのインタビュー動画を公開いただきました。

## 8.会議の開催

### (1) 総会

通常総会(2024年度)

#### (ア) 開催日時及び場所

2024年3月10日(日) 13時00分から14時30分まで

会場：EF Tokyo/オンライン

住所 東京都渋谷区渋谷2-15-1 渋谷クロスタワー 27F

### (イ) 議題

第1号議案

2023年度 事業報告書(案)と2023年度会計収支決算書(案)に関する事項

第2号議案

2024年度事業計画(案)と2024年度収支予算書(案)に関する事項

第3号議案

2024年度の役員(理事、監事) 選任に関する事項

(a) 理事会役員の件につき、内容の説明を行い協議

(b) 事務局体制と顧問の紹介

第4号議案

2024年度役員(理事及び監事) 選任に関する事項

### (2) 理事会

第1回理事会

#### (ア) 開催日時及び場所

2024年 3月12日(火) 14:00～16:00 オンライン開催

#### (イ) 議題

I.審議事項

1. 代表理事、副代表理事長及び専務理事選任の件

第2回理事会

#### (ア) 開催日時及び場所

2024年 6月5日(水) 14:00～16:00 オンライン開催

#### (イ) 議題

I.審議事項

1. セーフガーディングに関して

II.報告事項

1. 2024年度事業進捗及び4月末までの収支状況共有 / 関係資料1

2. 2024年度下半期事業計画

第3回理事会

#### (ア) 開催日時及び場所

2024年 12月5日(水) 19:30～21:15 オンライン開催

#### (イ) 議題

I.審議事項

1. チェンジメーカー・フェスの費用の対応について